

農学部教育目標

南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かし、フィールド等での実践的な教育を重視し、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた、農林業、食品産業等および食住農関連分野の技術者・指導者などの育成を教育目標にしている。

アドミッションポリシー

鹿児島大学農学部では、農林業や食料生産、環境保全、生命科学の分野に広い探究心をもち、自然科学の幅広い知識と外国語の基礎的な学力を備え、高い社会的関心を持った学生を求めている。

加えて、入試形態ごとには以下のような学生を求めている。

- (1) 国語、地理歴史、公民の基礎学力を備えており、数学と理科および外国語の水準以上の学力を有する人(一般前期入試)
- (2) 国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科の基礎学力を備えており、農林業や食料、環境に高い関心をもつ人(一般後期入試)
- (3) 農学に関する実務、実技に優れ、勉学に取り組む意欲のある人(推薦入試Ⅰ)

ディプロマポリシー

学士課程にあつては、所定の年限在学し、所定の単位数を修得した者に、学士の学位を与える。特に成績が優秀な者に対しては、所定の手続きにより、早期卒業を認め、学士の学位を与える。

学士の学位を与えるにあたって、以下の点に到達していることを目安とする。

- (1) 幅広い学術的教養を身につけている(DP1)。
- (2) 農林業および食品・生命科学関連産業に関する専門的な知識を有している(DP2)。
- (3) 農林業および食品・生命科学関連産業の現場において、専門分野に関するさまざまな課題に対応する方法や技術を習得している(DP3)。
- (4) 農学に関する研究課題について研究を行い、その成果を卒業論文としてまとめる能力を有している(DP4)

カリキュラムポリシー

教育目標を達成させるため、豊かな教養を身につけさせるとともに、農学に関連した分野の学問と知識を習得させ、フィールドにおける実践的な力を養うための教育を行う。その概要は以下の通りである。

- (1) 1、2年次では、共通教育科目を中心に履修させ、幅広い教養を身につけることをめざすが(DP1)、農学の専門領域への導入的な科目も履修させて基礎を養う科目を配置する(DP1,DP2)。3、4年次では、専門領域の科目を重点的に履修する科目を配置する(DP2,DP3)。
- (2) 2年次から3年次にかけて教育コース分けを行い、各コースごとに特色のある講義科目により基礎的な理解度を向上させるとともに(DP2)、本学部の特徴である充実したフィールドトレーニング(実験、実習)により実践力の向上を目指す科目を配置する(DP3)。
- (3) 3年次から4年次にかけて、研究室への配属を行い、教員による密接な指導や学生間のコミュニケーションと相互指導により課題研究に取り組みながら、問題解決能力を養う科目を配置する(DP4)。